



りょくちこうえん
緑地公園 (藤久保)

他の公園にはないバーベキュー施設があります(頁下参照)。多くの木々に囲まれ、木漏れ日のなかでベンチに座り、休むことができる憩いの場です。夏はセミやカブトムシなどの昆虫採集する子どもたちの姿も。



住所：藤久保 1112-1
面積：6,662㎡



宮本ふれあいの森 (北永井)

緑豊かな公園です。一周約 300 m の園内遊歩道を利用し、散歩をする人などがいます。コナラの木を中心に緑が多く、夏も木陰で涼しく過ごしやすい場所です。遊具もあり、ターザンロープは他の公園にはない魅力です。



住所：北永井 885-1
面積：5,767㎡



ちくまざわひがしこうえん
竹間沢東公園 (竹間沢東)

町内で最も広い公園です。芝生が広がる広場、すべり台などの遊具も設置。休日になると芝生の上でお弁当を食べたり、かけっこをして遊ぶ家族を目にします。子どもからお年寄りまでゆったりできる公園です。



住所：竹間沢東 21-1
面積：9,343㎡



こぶしの里 (竹間沢)

斜面林の中に散策道が設けられ、湧水が池や小川に流れ込んでいます。側道の池でザリガニ釣りをする親子の姿も。カブトムシ、クワガタ、オニヤンマなども生息。また、林に囲まれた小屋で自然を満喫できます。



住所：竹間沢 1081-1
面積：8,918㎡



自然の中で遊ぶ

(写真) 緑に囲まれた緑地公園脇の道

戦前の夏の子どもたち

暑い夏でも、子どもたちはいつも元気いっぱいです。特に戦前の子どもたちは、まさに自然の中でたくましく育ったといえます。夏に撮影された写真の子どもたちの足は、大きい子から小さい子までみんな裸足です。また、夏の体育の時間には柳瀬川で泳いだという話も聞きます。柳瀬川に注ぎ込む湧水源付近には、ミヤコタナゴが生息していたとも言われています。



昭和 15 年ごろに撮影された写真。子どもたちの足に目をやるとみんな裸足です。

その昔、先人たちが切り開き長い年月をかけてこの町を木々があふれる緑の大地にしました。武蔵野の面影を残す雑木林の豊かな緑は、三芳町の魅力の一つです。

その魅力を活かした公園が町内にはあります。遊歩道やベンチ、遊具がある公園を散策したり、お弁当を広げて家族でのんびりと過ごせます。

また、緑あふれる公園だからできる、昆虫採集や、野鳥のさえずりを楽しむこともできます。特に、町内には多くの雑木林があり、秋に落ち葉で作った腐葉土が豊富にあるため、カブトムシの幼虫が育つには最適な環境ということもあり、いたるところにカブトムシがいます。

今回、町内に点在する公園のなかでもオススメの場所を紹介します。自然豊かで、広大な大地の中で遊び、散策したり、ベンチに腰掛け自然をゆっくり楽しんでみてはいかがでしょうか。

自然豊かな三芳の魅力を、ぜひ公園で味わってください。

※自然あふれる公園には蚊など虫がたくさんいます。長袖を着たり、虫よけスプレーをするなどして虫刺されの予防をしましょう。
※小さい子どもを一人で遊ばせることは危険です。必ず保護者が同伴し、子どもから目を離さないようにしましょう。